



「今年も元気で会えたね」とお互いの健康を喜び合う「高齢者のつどい」第21回が、5月27日、桔梗が丘市民センターで開催された。この行事は毎

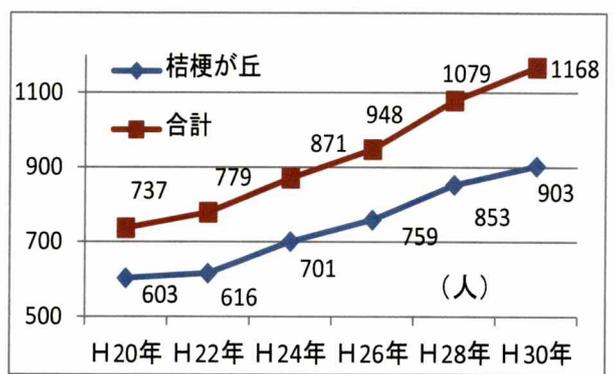
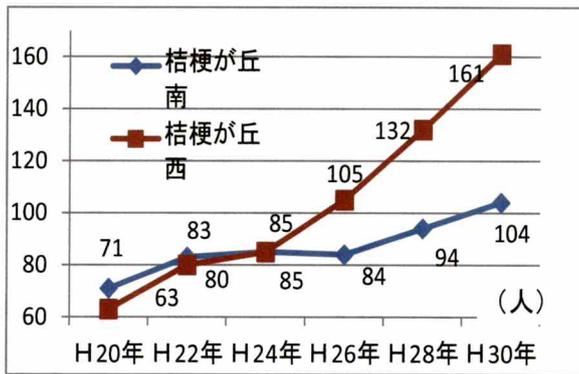
来年も元気で会おうね
90歳以上19人が出席
高齢者のつどい



2018年7月(平成30年)
発行 桔梗が丘自治連合協議会
連絡先 桔梗が丘市民センター
TEL 65-1206
FAX 65-1206
Eメール info@kikyogaoka.jp
5,751世帯・13,819人
(2018年6月1日現在)

年1回開催され、桔梗が丘地区民生委員児童委員協議会と桔梗が丘自治連合協議会が主催。80歳以上の人に出席を案内した。スタッフらを含め250人が参加し、90歳以上は19人だった。
桔梗が丘の高齢者の推移を表に示す(名張市町別人口統計)。住宅地は年代が固まっていて、高齢化は急激に進むといわれている。主催者は事態に備え対策を進めている。
今年のお楽しみは、高齢者には孫にあたる年代のジャズダンスに始まった。続いてまちの保健室スタッフによる指導で「くつろぎタイム」。座ったままでの健康体操で元気を取り戻してい

た。最後に音楽バンド・シリウスの演奏で歌謡曲を楽しんだ。男性は「北酒場」「北国の春」、女性は「天城越え」「川の流れのように」が人気だった。



昨年まではホテルの生態を学ぶ座学と観賞会だったが、今年には「ほたる・初夏にちなむ」と題して音楽演奏を加えた。名張市を中心に活躍している「シリウス」が、同センターの大会議室で17曲を80分近く演奏した。普段は聴くことができない伊賀市羽根に伝わる「古謡・ほたる」が登場し、やさしいメロディーを口ずさむ人もいた。
シリウスは平成27年にバンドリーダーの福間さんが知人らを勧誘し、真冬の空に輝く星「シリウス」をバンドに名付けて発足した。名張市社会福祉協議会・組織構成委員会に登録し、夏まつりや高齢者のつどいなどのイベントで活動を続けている。この日の演奏が第98回を数えた。130曲の

桔梗が丘南市民センター近くのシャククリ川で、ホテルの乱舞を楽しめると人気の観賞会が、6月16日に開催された。桔梗が丘自治連合協議会・快適環境部会の主催で今年第15回。

今年ではホタルの生態を学ぶ座学と観賞会だったが、今年には「ほたる・初夏にちなむ」と題して音楽演奏を加えた。名張市を中心に活躍している「シリウス」が、同センターの大会議室で17曲を80分近く演奏した。普段は聴くことができない伊賀市羽根に伝わる「古謡・ほたる」が登場し、やさしいメロディーを口ずさむ人もいた。

今年初夏の音楽を添えて
一歩踏み込めば乱舞の世界
シャククリ川のほたるまつり



レパートリーが魅力というファンもいるという。メンバーは▽リーダーでギターの福間博さん▽梅が丘▽ベースギターぼんた山村さん▽西原町▽ボーカル荒木薫さん▽安部田▽キーボード中西美智子さん▽桔梗が丘のみなさん。
新しく編集された説明とクイズでホテルの生態知識を高めたあと、場所をシャククリ川に移しホテル観賞を楽しんだ。川の散歩道に入ったとたん、多くのホテルのお出迎えに遭い、参加者はおお喜びだった。

桔梗が丘自治連合協議会定時総会

平成30年度事業関係の主な活動計画

桔梗が丘自治連合協議会の一年間の活動計画が、5月19日の定時総会で承認され活動がスタートした。前号で同協議会の委員会と部会事業の主なものを掲載した。本号では「ほつとまち」プロジェクト事業、市民センター事業を掲載する。

「ほつとまち」プロジェクトの部

「ほつとまち茶房」

ききょう事業

たゆみなし努力で安定経営

昨年の実績は、1日平均利用者36.2人だった。

本年度も気軽に立ち寄り、ふれあい交流の場となるよう、サービススタッフの「おもてなし」で「ほつと一息つける居場所」を目指す。

○歌声喫茶の定期開催 毎月1回第4水曜日に定期演奏をする。○イベント 昨年の五周年記念の好評に応じて、本年度も昨年同様のイベントを開催。○他の団体との協賛事業 農楽園の農作物の販売について、将来の本格的実地に向かつてポトムアップを図り本年度も実施する。

新メニュー 利用者への声を聴き採算性を考慮して採用する。

「いどもたちと地域の絆」

自然体験学習

今年度は桔梗が丘小が

「自然体験学習」

昨年度好評だった「自然体験学習」を今年度は桔梗が丘小が行う。

「通学路花いっぱい運動」は地域の3小学校の情報交換する仕組みが出来たので、ノウハウの共有を進める。

「みどり環境整備保全事業」

桔梗が丘の豊かな自然と緑の保全管理

事業内容は次のとおり。

○桔梗の森公園、鳴滝公園、野鳥公園を始めとした桔梗が丘地内及び近隣の自然緑地の保全

全管理に取り組む。

○ききょうの森公園をはじめとした桔梗が丘地内及び近隣の自然緑地や里山において枯木の伐倒処理・コナラの保護育成・自然緑地にふさわしい樹木の植樹や植物の伐採など、みどり環境の整備と保全を図る。

○桔梗が丘自治連合協議会及び桔梗が丘市民センターの施設緑地保全にも協力する。

「桔梗が丘お助けセンター」

日常生活のお困りごとを
お手伝い

「桔梗が丘お助けセンター」は平成27年に「家事支援サービス」で業務をスタートした

あと、「外出支援サービス」と「配食支援サービス」が加わって昨年に3部門が、南市民センターを拠点に活動を続けている。

サービスを利用する人は増える一方でスタッフの不足が課題。

「ききょう農楽園事業計画」

6次産業化を推進

昨年6次産業化研究テーマにもつくり分科会を立ち上

げた。ききょう農楽園の安全な農産物を使い、加工品の試作を続け菊芋ドレッシングの開発が出来た。今年度は試験販売、及び6次産業化を推進する。平成30年度の事業

栽培、加工販売推進 自治連合協議会事業部、各プロジェクトとの連携、市民センター等での販売。

市民センター事業の部

市民センター事業計画(開設数は年間。参加数は予想延べ人数)	
学級・教室	内容
名称・開設(催)数・参加者数	
俳句入門講座 12回・80名	桔梗が丘在中の作家から俳句の基本を学び、実践的な俳句作りを学ぶ
シニアクラス ハナ 4回・180名	高齢者の交流と教養(会員登録制)体験学習等のアラカルトの開催
メンズ ストレッチ 12回・240名	初心者向け骨盤矯正と椅子ヨガ
天体観測 2回・100名	子ども、親子を対象とした天体観測 昨年のサイエンスメイト講座の延長
○公開連続講座 「美術鑑賞 基本のき」 3回・350名	市民センター恒例の公開連続講座 “美術鑑賞とは”について有名美術館、博物館の学芸員を講師に招く
○公開単独講座 1回・100名	時期を得た、地域の課題を講演テーマで開催予定
○地域デビュー講座 (地域づくり講座) 10月以降に3回・10名	“地域づくりに参加する人材のデビューを促す。“地域の課題を解決するための講座”が時代の要請である
行事	
プチコンサート 1回・300名	地域の中学校、高校の吹奏楽団などを招いての演奏会
映画会 2回・200名	夏休み、冬休みに児童、親子が楽しみにする映画会を開催
第34回市民センター祭 1回・2,500名	10月27日～28日。サークルの成果発表をする文化祭

本紙第86号「健康推進部会」の記事で、ききょう健康まつりの開催日は11月25日(日)に訂正します。

【訂正】